

こんにちは！

だいごう  
第4号

おおづまちしょう しゃきかんそうだんしえんせんたー  
大津町障がい者基幹相談支援センターです！！



発行日:令和6年1月

発行責任者:

大津町障がい者

基幹相談支援センター

浦田裕之

ちてきしょう 知的障がいのある方の理解とちょっとした配慮

センター長 浦田 裕之

こんかい ちてきしょう 知的障がいのある方について紹介いたします。知的障がいとは、生活や学習面で

あらわ ちてき はたら 働 きや発達 が同年齢の人の平均と比べゆっくりにしていることをいいます。

せんてんてき こうてんてき 先天的・後天的さまざまな原因による脳の機能障がいです。脳内の障がいのため、見た目

に分かりづらい障がいです。知的障がいのある方の多くは「療育手帳」を所持されており、

その程度によって熊本県では、A1、A2、B1、B2(最重度・重度・中等度・軽度)の段階に

分けられています。

では、知的障がいのある方は、実際どういうところに困っているのでしょうか？

☞こんなことで困っています(すべてが当てはまるわけではありません)

- \*言葉に遅れがある
- \*複雑なルールの理解が難しい
- \*計画を立てることが難しい
- \*判断を誤ることがある
- \*周囲の状況を察知するのが難しい
- \*臨機応変が難しい
- \*抽象的概念の理解が難しい



※障がいの程度(軽度～最重度)によって異なりますが、外見では分かりにくい障がいと言えます

☞では、私たちに何ができるでしょう(配慮のポイント)

- \*伝えるべき内容を絞って伝える
- \*ゆっくり具体的に伝える
- \*言葉だけでなく、実物や写真、絵カードなどの視覚的なものを使ってやり取りをする
- \*一つ一つの手順を分かりやすく伝える
- \*漢字にルビ(ふりがな)をふってあげる



みなさんも知的障がいの方に出会う機会があったら、今回ご紹介した方法を活かし、ぜひ声をかけてみてください。

「18トリソミー」とは

18トリソミーは、先天性疾患のひとつです。人間は、通常すべてが2本ずつで構成される23対の染色体をもっていますが、何らかの原因でそのうち18番目が1本多い3本になることがあります。18トリソミーは、さまざまな合併症が併発される重い障がいである先天性疾患を伴う場合が多く、その生命予後は悪いとされてきました。18トリソミーは、かつては出生児の1年生存率が10%程度とされていましたが、近年は医療的ケアを受けながら家族と共に家で生活し成長する子どもたちが増えてきました。



『18トリソミーのことを多くの人に知って欲しい、短命といわれても、こんなに頑張っている子どもたちがいることを知って欲しい。彼/彼女らが家族にとってかけがえのない存在であること、そして幸せな生活があることを知って欲しい。』と、いう思いから生まれた「Team 18」。今回の写真、情報は、「Team 18」のご協力を得て掲載しております。大津町のみなさんにも出会ってもらい、知ってもらえると嬉しいです。